



毎週金曜日の午前9時から、SBSラジオで放送されている「ラジオWEST」に出演しています。毎月第3金曜日の月1回の出演です。今月は、
9月21日 金曜日 11時25分～
追伸：放送の内容は、翌週のびぶれ浜松にも掲載されます。ラジオ放送のあと、かなりの電話があり、ビックリしました。

■インターネットのない生活・・・。

事務所の引越しも一段落しました。引越しの際に、インターネットの手続きにトラブルしてしまい、実は引越し後約20日間はネットにつなげない状態が続いておりました。当社は、FP事務所として最新の情報を収集しつつ、さまざまな提案をしております。しかし、これはインターネットあってのもの。ネットがつなげない、約3週間もの間は、保険会社や知り合いのFP事務所と、常に電話やFAXでのやりとりをすることで、従来どおりのクオリティーを維持してきましたが、要した時間は2倍以上。インターネットのありがたさを知った8月でした。インターネットが使えない期間に、業務を整理することもでき、今まで以上の仕事量がこなせるようになりました。（代表取締役 山中 崇寛）

■新事務所情報

新しい事務所も、152号線沿いになります。道の東側（南進で左側）です。看板は、現在制作中です。

現在は、「何も書いていない（笑）白い看板」が「目印」です。（山中 崇寛）



事務所の外観。現在、看板作成中です。

多分こんな感じの看板になります。

著作・発行 浜松ファイナンシャルプランナーズ事務所株式会社
運用や預貯金の見直し、保険見直しをご検討中の方は**イマズグ電話無料ガイダンス（053-474-8266）**をご利用下さい。

〒433-8122 静岡県浜松市中区上島2-1-3 1F
Tel: 053-474-8266 Fax: 053-476-0159 携帯: 090-5616-1263
メール: yamachan0511@ybb.ne.jp
ホームページ: グーグルで「浜松 FP」と入力して一番最初にでてくるところ。（従来のURLは廃止しました。）

山中崇寛: 今年の目標は10kg減。現在、8kg削減・・・なFP!!
大石ゆき: 子供達とプールに行き、真っ黒になった保険見直しFP!!
上野陽子: またまた体調を崩し、真っ白なままの事務員。。



<スタッフのひとりごと: 担当 山中>

びぶれやショッパーに掲載する写真を変更しました。2005年に撮ったものをずっと使って

ありがとう通心

2007.9
第29号

浜松ファイナンシャル
プランナーズ事務所

第1号から読みたいという方はご連絡ください(053-474-8266)。
当社のホームページからもダウンロードできるようになりました。

今月のトピックス

- ・お客さまのご感想！ありがとうございます。
- ・新事務所情報（山中）
- ・少子化と子供費について（大石）
- ・『侵入犯罪』について（上野）

残暑お見舞い申し上げます。
9月は台風の季節。皆様の
家の備え(台風災害の保障)
は大丈夫でしょうか？(山中)

■お客さまの声～ありがとうございます～

皆様からお寄せいただく、感謝の声は私たちがプロとしてFPサービスを提供し、改善し続けるために役立つとともに、この仕事をしていく上で最大のエネルギーになります。どうもありがとうございます。今回は、保険見直し相談を御利用されたお客さまのお声です。どうもあ

今回 現在加入している保険会社より 転換した場合保険の
見直しをいただき、結婚した事もあり 保険の見直しを考えていました。
自分なりに資料を取り寄せてみたりしたけど どれも 良し所と
悪し所があり 選ぶ事ができず 困っていました。
山中さんに相談することにした訳ですが 素人には わからない事
が 多々 あり、とても 勉強になりました。自分で考えて 行動する
ことも大事ですが プロの 方にお願ひした方が やはり、 将来には
役立つ と思いました。 ありがとうございます。

<浜松市在住・40代女性>

当社の資産運用相談は、運用したいと思われてる方はもちろん、①知識経験のない方 ②うちには運用する資産がない（とってる）方にも、向いております。こんな資産運用相談を御希望される方は、053-474-8266まで、お電話で初回相談の御予約をおねがい致します。（山中）



『侵入犯罪』について



上野陽子です。娘（小2）が夏休みの自由研究で『二十日大根』を栽培しました。二十日大根って、本当に二十日くらいで食べれるようになるんですね（*~*）夏休み終了のギリギリまで、宿題に追われていた娘です（-_-）

今月は『侵入犯罪』について書きたいと思います。



以前に比べて、最近はこの話題もよくTVなどで取り上げられるようになり、皆様の意識もだいぶ変わられたと思います。

しかし、長い間同じ所に住まわれている（特にご年配の）方で「ここはそんな物騒な所じゃないから大丈夫。」と、玄関にカギをかけずに外出されたり、夜網戸にしたまま寝られたり・・・などを、されている方はいらっしゃいませんか？

今は、カギをかけていても、はたまたセキュリティをかけている店舗でも、泥棒に入られてしまうことがある時代です。

そういう私の家も、実は1回泥棒未遂にあってしまった事があります。

私が高校2年生の時、風邪をひいて学校を休んでいて、母が昼休みに昼食の支度に帰って来てくれました。支度が終わって、職場に戻るために玄関のカギを閉めて、車で出掛けて行きました。

私は1人で昼食を取っていたら、ベランダで物音がしたので洗濯物が落ちたのだと思い、ベランダを覗いたら、若い男の人がベランダに登って来ていました。私は恐怖で声を出す事も出来ず、固まってしまいました。すぐその男の人が私に気付き、逃げてくれたので大事には至らなかったのですが、あの恐怖は今でも忘れられません。

泣きながらすぐ母に電話をして、警察を呼んでもらいました。警官曰く『家の人がカギをかけて出掛けた事を確認してから入ろうと思ったんですね。』という事でした。

その影響で、私はとても怖がりになってしまい、昼間でさえ玄関のカギはもちろん、誰かの目が届かない所の窓すら開けている事が出来ず、家族がカギや窓を閉め忘れていて、鬼の形相で怒ってしまいます（-_-）この思いは、怖い体験をしていないと分かってもらえないかもしれ



侵入犯罪には、いくつも手口があるので、いくつかご紹介したいと思います。

『ピッキング』とは、ピックと呼ばれる金属製の特殊工具をカギ穴に入れて、ドアの錠を短時間で開ける、という手口です。ピッキングに対応した錠でなければ、1分もかからずに侵入されてしまいます。

『サムターン回し』とは、ドリルで穴を開け、サムターン（内側のドアロック用のつまみ）を強引に回して侵入する、という手口で、壊したドアスコップ（のぞき穴）や取り外したドアノブの穴、ドアと壁の隙間などに特殊工具を挿し入れて、サムターンを回すこともあります。

『カム送り解錠』（または『バイパス解錠』）とも呼ばれています。）は、特殊工具を用いて錠シリンダー（鍵穴の丸い部分）を迂回し、直接ケース内部に働きかけて、デッドボルト（かんぬき）を作動させ解錠する、という手口です。

これら以外にも、ドアと壁の隙間に、釘抜きのようなし字型をした工具・パールを押し込み、てこの原理でドア錠を破壊して侵入する、強引で手間がかからず短時間で侵入する手口や、クレセント（窓ガラスの錠）の周辺を破損し、そこから手を入れてクレセントを回して侵入する手口などがあります。こちらは、わずか10～15秒で破損してしまえるため、わずかな留守の間でも安心出来ません。

このような侵入犯罪を防ぐためには、ドアの強度を増したり、防犯性能の高いカギにしたり、防犯性能の高い補助錠を取り付けたりして下さい。

ドアだけでなく、窓も同じく防犯性能の高い窓にしたり、補助錠を付けたりして下さい。忘れやすいのが、2階の窓や勝手口・高窓・トイレ・浴室などです。

集合住宅の高層階の方も、油断をしないようにして下さい。非常階段を使い非常口から入られてしまったら、高さなど関係なくなってしまうのです。

子供に防犯ブザーを持たせて、外での防犯対策をしても、家での防犯対策が出来ていなければ、子供の安全が保障されているとは言えません。

9月1日は『防災の日』でした。この機会に、防災だけではなく、もう1度防犯についても考えて頂けたら・・・と思います。

少子化と子供費について

~~暮らしの知恵ぞー~~



大石ゆきです。長男（小五）長女（小二）、次女（年長）の3児の母でもあります。長男の富士登山を応援してくださっていた皆様(?)ありがとうございます。須走口から登山した今年は、高山病で8合目にてダウン(><)でも頑張りましたo(^-^o

あっという間に夏休みも終わり、またまた忙しい毎日が始まりました。

働くお母さん方は「お父さんがもうちょっと色んなことを手伝ってくればねえ…」なんて考えられている方も多いのでは??

実は「国民生活白書」では、『父親が家庭で家事に参加していないことが女性たちに結婚を選択させない1つの要因となっていないだろうか?』と書かれています。

というのも「国民生活白書」によると、20代・30代の女性たちの中で、父親の家事参加がなかった家庭で育った人ほど、結婚への意向が低いというのです。



考えてみれば、当然かもしれません。父親が家事や育児をせず、母親が家のこと全てをしている姿を見て育った女性にとって、結婚は重荷に感じられるでしょう。

結婚後も仕事を続けたいと考える女性にとってはなおさらです。

仕事プラス家事・育児…と考えると、結婚自体に魅力が薄れてしまいます。

逆に夫婦関係が良好な家庭に育った人ほど結婚への意欲を持ちやすいと思われます。

お父さん、どんどん家事・育児に参加しよう!! また、男の子にもお手伝いの習慣をつけよう!!

そして、日本が現在深刻な少子化の状態であることは、みなさんご存知かと思います。ただでさえ法的結婚を選択しない人が増える中

「子供はお金がかかるから産まない」「お金がかかるから1人だけでいい」と、子供が減っていくもう一つの原因、それは子供にかかる費用「子供費」が大きく影響していると考えられます。



子供にかかる費用というと「教育費」を思い浮かべる方が多いと思いますが、実際には「食費・被

その「子供費」、一人の子供を育て上げるのにかかる費用は、約3,000万円だとか。こう聞くと、たしかに子供を産む気がなくなってしまうのも、もっともな話。でも、これは合計の数字であるということを考えてください。

教育費や子供費はとかく「合計」で語られがちです。

でも、人生にかかる費用をそれぞれ「合計」で見ると、実はどれもショックな数字になってしまうのです。



例えば【住宅費】3,000万円の家を頭金500万円、ローン2,500万円（35年、金利3.5%）で買い、リフォームを10年に1回100万円×5回、固定資産税が年15万円×50年とすると、住宅費の合計は

約6,100万円!!

【老後費】夫婦二人で月30万円で25年暮らし、他に医療・介護で1,000万円かかったとすると、老後費の合計は

約1億円!!

ちなみに結婚から老後までを60年間とし、夫婦二人で月30万円ずつ生活費がかかった場合、夫婦二人の生活費の合計は

約2億1,600万円!!

こうしてみると、子供費ばかりが合計で語られるのはヘンな気がします。

今年は前年に比べ、出生率が少し回復しましたが、それでも少子化に歯止めがかかったとは言えません。

このまま出生率が改善されないと、西暦3300年には日本人はゼロになるという試算もあるそうです!!

少子化を食い止めるには、政策の抜本的な改革が必要なことは間違いありませんが、男性の家事参加、子供費を過大に考えすぎない等、私たちにもできることはあるかもしれません

~~暮らしの知恵ぞー



針のサビとりはアルミホイルで

アルミホイルを少し丸めて、針をしごくようにして磨きます。サビがとれ、針の通りもグンとよくなるそうです。